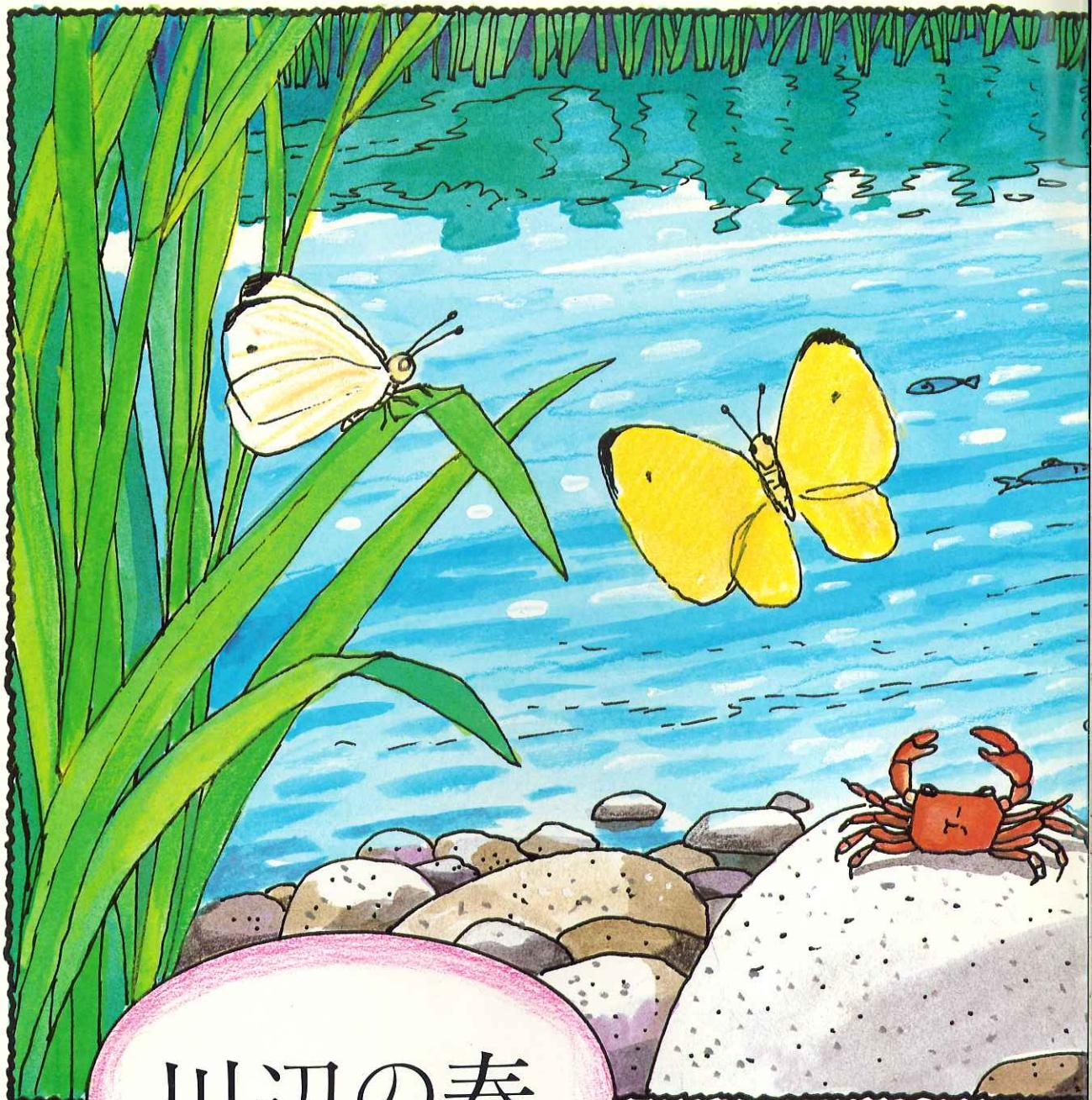


# かわ ほん 川の本

NO.14 1983年・河川美化月間



監修 建設省河川局  
財団 法人 河川環境管理財団



# 川辺の春



ながいながい冬のあいだ  
雪や霜におおわれて  
見わたすかぎり枯草色だった川岸に  
ほら、緑の新芽がのぞいている  
かれんなつぼみが  
そよ風にゆれている



季節を追って移動する鳥たちが  
たわむれ集ういこいの川辺  
ほら、あちらでもぐった鳥が  
こちらにばかり  
空にはあげひばりのさえずりも  
高らかに……

川辺には春の息吹きがあふれ  
生きものたちは  
春の日ざしがまぶしそう



# 川と仲よく… 楽しい水辺

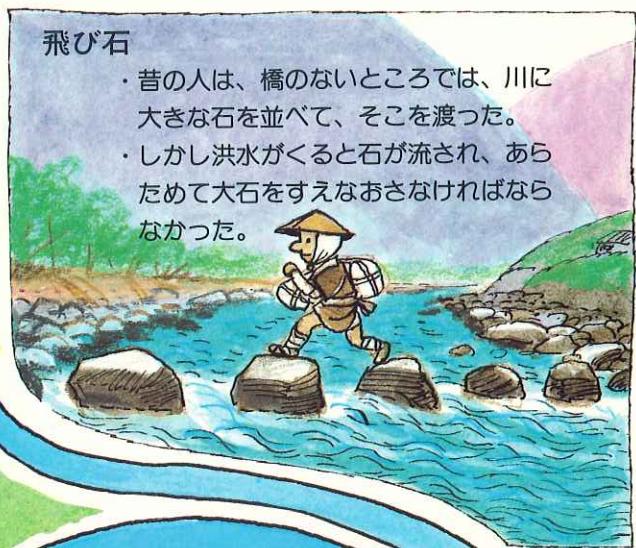
植物や昆虫などが、みんな生き生きとしている様子を見ることができるのは、なんといってもうれしいことです。



## 釣りを楽しむ人たちにお願い！

釣り糸(テグス)が足にからまって足や爪などにケガをしたり、枝に残された釣り糸で翼をいためたり、釣り針を知らずに飲みこんで苦しんだりしているのです。

どうか、釣り糸や釣り針は、きちんと後しまつをしてくださるようお願いします。



# 日本の川に住む おおものうお **大物魚**——草魚

むかし、北海道の川には、イトウという体長が1.5mから2mにもなるという大物魚がいたそうですが、今では幻の魚となってしまいました。

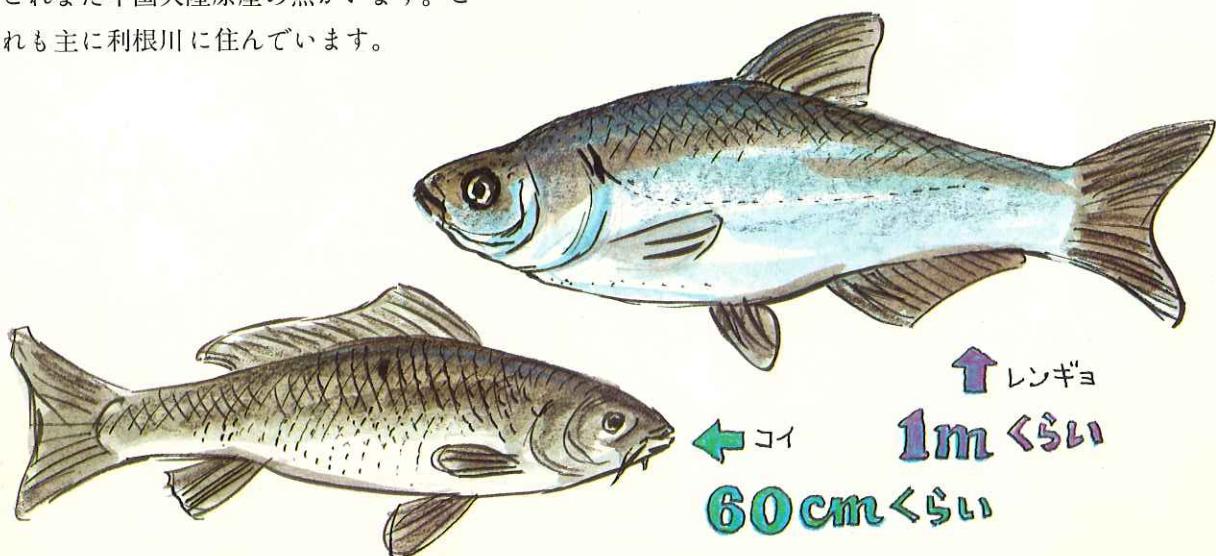
そして今わが国の川に住んでいる魚でいちばん大きいのは、草魚でしょう。コイ科の魚ですが、コイとちがってヒゲがありません。もともとは中国の原産ですが、40年ほど前に利根川に移殖され、今では江戸川、霞ヶ浦などに見られるようになりました。

大きさは1m20cmぐらい。もっとも中国大陆では、体長2mにもなる大物がいるということです。草食性で、どちらかといえば水のにごった下流の方に住んでいます。

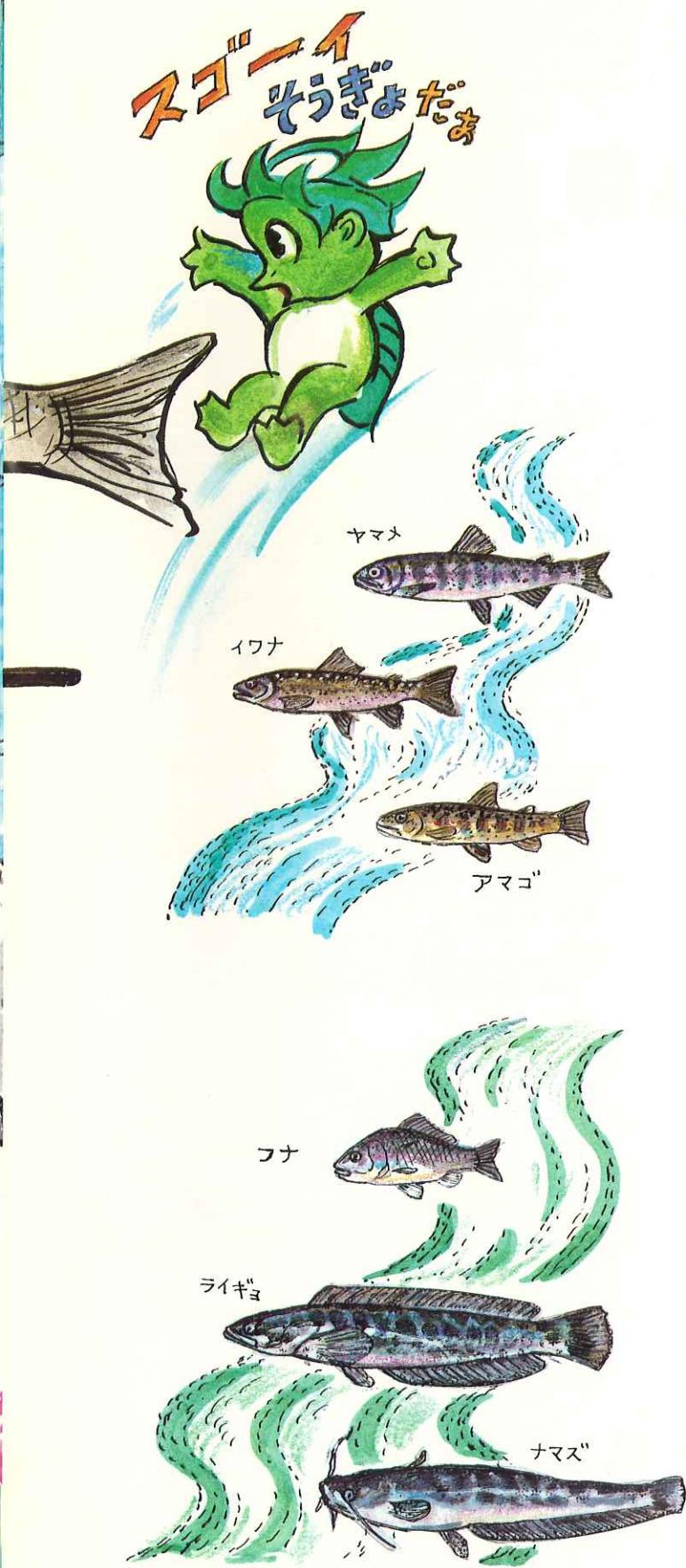
また草魚より少し小さく、体長1mぐらいの魚に、ハクレンやコクレンという、これまた中国大陆原産の魚がいます。これも主に利根川に住んでいます。



↑ ソウギョ  
1m 20cm くらい



↑ レンギョ  
1m くらい  
← コイ  
60cm くらい



●生きものには、それぞれ自分が生きていくことのできる場所や条件というのがあります。

中国の川からつれてこられた草魚が日本の川に住みつけたのは、川の条件が似ていたことと、新しい川になじむことのできる力や性質を草魚がそなえていたからです。

●草魚は、どちらかといえば水のにごったところを好みます。しかし、イワナやヤマメなどは、上流のきれいな水のところでないと住めません。 ⇒そこに住む生きものを調べてみると、その川のよごれの度合を知る目安になります。

●川の水のきれいなところに住んでいるお魚  
ヤマメ、イワナ、アマゴ、など

●どちらかといえば、にごった水のところに住んでいるお魚  
ライギョ、ナマズ、コイ、フナ、など

### 河川環境管理財団のしごと

私たちは、次のようなしごとを通して、みなさんに愛される川づくりのお手伝いをしています。

- ①よりよい河川環境を生み出すための計画づくり
- ②みんなで安全に遊べる楽しい川づくり
- ③川の美化をすすめ、また河川愛護の知識をひろめる
- ④河川環境のこれからを考えるための調査や研究

来てみれば、ゴミが

べそかく川辺かな



河川美化月間

## 川を愛する皆さんへ

川辺は、ゴミすて場ではありません。  
せっかくの美しい自然も  
きれいな川辺も  
これではあまりにもかわいそう。

空きカン、空きビン、ゴミくずなどは  
必ず自分で持ち帰りましょう。



財団 法人 河川環境管理財団

(〒160) 東京都新宿区新宿5丁目17番5号 第5荒井ビル  
TEL (03) 200-5677(代表)